

NPO法人 日本ファシリテーション協会の紹介

FAJ

◎ 日本ファシリテーション協会（FAJ）とは・・・
ファシリテーションの普及を通じて、多様な人々が協働しあう自律分散型社会の健全な発展をめざすために設立されたNPO法人です。

◎ 会員数・拠点数

会員数：約1,600人（日本全国）

拠点数：12拠点

北海道、東北、新潟、東京、中部、富山、
関西、岡山、広島、四国、九州、沖縄



□ 災害復興支援室とは・・・

地域コミュニティの再構築、NPO・NGO間などのネットワーク強化などの領域において、ファシリテーションを活用した話し合いの促進という側面から復興を支援する活動を行っています。

- ✓ 会議・ワークショップの事前準備（プログラム作成）から当日の司会進行、議論の見える化まで
- ✓ チーム形成の促進
- ✓ 想いや気持ちを伝える対話の場づくり など

災害復興支援室

ファシリテーションは、多様性を認め合い、人の力を引き出し、組織と社会を協働創造します。

FAJ災害復興支援室の活動紹介



「話しあい・掲示用文具レ
キューパック」の提供

4月中旬、文房具の確保が十分にできない被災地の支援団体へ、水性マーカー、コピー用紙、付箋などを提供し、会議の支援を行う



「いわて連携復興センター」
設立総会へ参加

4月28日、「いわて連携復興センター」の設立総会へファシリテーターとして参加し、参加者の交流促進や議論の見える化を支援する



復興イベント「やっぺしかま
いし」に協力団体として参加

5月3日～5日に釜石市で開催された復興イベントに準備段階からファシリテーターとして参加し、イベントや会議の運営、見える化の支援を行う



「第1回釜石市復興まちづくり
ワークショップ」の支援

5月4日に開催された釜石市主催の復興まちづくりワークショップにグラフィッカー（板書担当）として議論の見える化を支援する



「震災ボランティア・NPO等と各省
庁との定例連絡会議」の支援

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）が運営する上記会議のあり方の提言を行い、事前準備から当日の司会進行・見える化の支援を行う

その他、

- ・「石巻市復興計画市民ワークショップ」への協力
- ・「ふくしま復興塾」への協力
- ・「スクラム釜石」発足に向けた会議の支援

など、各種会議やワークショップにファシリテーターとして参加・支援

- ・『情報を「見える化」しませんか?』リーフレットなどのツール提供支援

FAJ災害復興支援室の支援概要

- ・納得度の高い会議にしたい
- ・話し合いに集中したい
- ・効率、効果的な会議にしたい

事前準備から当日の司会進行、議論の整理・見える化で会議の運営支援を行います。また、会議に必要な文具セットなどの提供支援も行います。

会議のファシリテーション支援

- ・復興計画に市民の声を反映したい
- ・被災地の想いや気持ちを伝えたい
- ・人の縁を深めたい

参加者一人ひとりの思いや声が反映されやすい対話の場づくりの運営支援（プログラムの作成から当日のファシリテーターまで）や助言支援を行います。

ワークショップのファシリテーション支援

- ・他団体と情報を共有したい
- ・他団体と連携、協力して、被災地の支援活動を行いたい

団体同士の交流促進からチーム形成まで、目的に応じた場づくりの支援を行います。

被災地で活動する支援団体の支援

- ・自らワークショップを運営したい
- ・会議を有意義なものにするため、ファシリテーションを学びたい

目的に応じたファシリテーションの研修を実施し、ファシリテーター育成の支援を行います。

ファシリテーターの育成・研修支援